## 「15歳からの経済入門」

**著者：泉 美智子　河原 和之**
**出版：日本経済新聞 出版社**
**発行：2012年９月３日**




大阪商業大学の起業教育研究会におきまして、本年度「AL、UDをふまえたエシカル授業」～スマホ、チョコレートなどを通して経済倫理を考える～の実践取組事例報告がありました。著者の河原様がご講演の中で取り上げられていた一冊について、ご紹介させて頂きます。

「15歳からの経済入門」は、授業で経済を学習する導入部分で活用することができます。経済を難しい言葉で表現するのではなく、身近な事例をストーリー立てて執筆されており、生徒たちが直接読んでも理解できる内容になっております。

第１章　わかると楽しい経済のはなし
第２章　会社を知ると、経済も見える
第３章　景気が悪いのは政府のせい？
第４章　世界の人々はつながっていく
第５章　日本人の働き方も変化する

上記のように章立てされており、最近利用した内容を２つご紹介させていただきます。第１章７節「100円のいくらと1800円のいくら丼」で貿易の働きについて説明されています。解説では「得意」を売って、「不得意」を買うように、貿易の仕組みから「比較優位の原理」についても触れています。日本が経済発展を成し遂げた理由の一つに、得意なことに集中して「分業」すれば、しなかった場合よりも豊かになるという考え方があることを伝えることができます。

第３章３節「なぜコンビニで薬が買えるのか」で規制緩和について説明されています。当たり前のように買っている商品が、経済や社会の変化によってもたらされたものだと教えることができます。生徒たちには実感しにくい

内容も、この著書を活用すれば簡単に理解させ、より発展させることができます。ぜひ一度ご一読いただければと思います。

起業教育研究会　企画委員
大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校　教諭　大中真太郎